



TITLE:

日米協定ト日本ノ經濟

AUTHOR(S):

神戸, 正雄

---

CITATION:

神戸, 正雄. 日米協定ト日本ノ經濟. 經濟論叢 1917, 5(6): 864-876

ISSUE DATE:

1917-12-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127302>

RIGHT:

京都帝國大學法學大科

# 經濟論叢

第五卷 第六號

大正六年十二月一日發行

## 論說

社會學と社會科學(一).....

文學士

高田保馬

租税ニ於ケル強制ト任意.....

法學博士

神戸正雄

總同盟罷工論.....

法學士

河田嗣郎

經濟的行爲と道德的行爲との關係(三).....

法學博士

田島錦治

墨子ノ經濟思想(二完).....

文學士

小島祐馬

西歐主義(三).....

文學士

米田庄太郎

土佐藩ノ地割制度(三).....

文學士

小野武夫

## 時事問題

日米協定と日本ノ經濟.....

法學博士

神戸正雄

米國ノ貿易制限策.....

法學博士

戸田海市

## 雜錄

佛國ノ戰時食料政策.....

文學士

山本美越乃

英國戰前ノ海運及貿易情況.....

法學士

小島昌太郎

最近獨逸經濟思潮.....

法學博士

櫛田民藏

日英ノ物價趨勢.....

法學士

河田嗣郎

## 時事問題

### 日米協定ト日本ノ經濟

神 戸 正 雄

#### (一)

日本政府ハ最近ニ特使ヲ米國ニ派遣シテ日米協定ヲ結バシメタ。其ハ支那問題ニ關スルガ、要點ハ(一)日本ノ支那一般特ニ其ノ日本ニ近接セル地方ニ於ケル特殊利益ノ存在ヲ承認スルコト(二)支那ニ於ケル領土保全門戶開放機會均等ヲ維持スルコトトイフニ在ル。彼ハ實ニ此二大事項ヲ決定シタ。其政治外交關係ノ批評ハ予ノ當ル所デナイカラ之ニ敢テセヌ。予ハ茲ニ專ラ自家專攻ノ經濟ノ立場ニ於テ之ガ腹藏ナク忌憚ノナイ所ノ論評ヲ試ミヤウト思フ。

#### (二)

由來日本ハ米國トノ間ニ交渉上ノ難件ヲ澤山ニ持ツテ居ル。就中移民問題ト支那問題トハ其最面倒ナル問題デアル。而シテ實ハ此等ノ問題ニ於テハ日本ノ思フ存分ノコトヲイヘバ到底米國ノ直チニ承服セザルヘキ所ノモノデ、兩國ノ間ニ兵火ニヨル衝突デモスルゾナケレバ日本ノ希望ノ

達スヘカラザル程ノモノデアル。然ルニ他面日本ハ戰後ニ於テモ又現在ノ戰時ニ於テモ米國ニ負フヘキモノガ多クアリ、日本ノ力ニモ疑ガアツテ、兩國ノ衝突ヲ避クルヲ利トスルモノガアルノデ結局日本ガ若干其要求ヲ緩メテ兩國ノ間ニ平和的ナル理解ヲ得ヤウトイフ最穩健ナル考ガ日本デ勢力ヲ占ムルコトナリ、ソシテ斯カル協定ヲ見ルニ至ツタノデアル。人若シ此協定ヲ以テ之ニツキ日本ノ希望スヘキ凡テノモノト解スルナラバ、其ハ見當違ノ甚シキモノデアル。又其レバカリデナク移民問題ノ如キモ日本ニ取リテハ重大問題デアルカラ、早晚何トカ日本ニトリ一層有利トナルヘキ解決ヲ要スルノニハ相違ナイガ、支那問題ノ方ガ日本ノ經濟ニトリテハ一層重要緊急事デアルカラ、先ツ以テ之ニツイテ米國ト協定シタノデアル。

### (三)

一體日本ハ支那ニ特別ナル利益及關係ヲ有スル。支那ニ利害ヲ有スル列強中デモ日本ガ最多ク之ニ利害ヲ有スル所デアリ、日本ニ利害ヲ有スル諸外國中デモ支那ガ最多ク日本ニ利害ヲ有スル所デアル。此事ハ予ガ今年七月號ノ商業及經濟研究ニ數字ヲ以テ説明シタ所デアルカラ、重ネテ説カヌ。特ニ日本ハ自國領土内ニ原料ヲ缺ク所デアツテ、而シテ此度ノ戰爭ニ依ツテ顯著ナル發展ヲ爲シ而モ戰後ニ亘ツテ維持サレントスル所ノ世界ノ商業政策的風潮ガムシロ原料ノ自國利用ニアツテ、其ガ與國側ヨリシテモ日本ニ向テ及ホサレ彼等ノ原料ノ供與ノ信賴シ難キ形勢ニ在ル

ニ於テハ、日本ノ經濟上ノ存立及發展ノ爲メニハ何トシテモ支那ノ利用ニ最モ重キヲ置カナケレバナラス。日本ガ此目的ヲ完全ニ貫徹スルカ爲メニハ實ハ支那ヲ日本ノ主權ノ下ニ置クカ、日支ノ聯邦ヲ作ルカ、又ハ少クトモ日支ノ經濟又ハ關稅同盟ヲ作ルカノ外ハナイ。日本ノ思フ存分ヲイヘバ此外ニハ出デナイ。

## (四)

然ルニ右イフ如キ事ハ支那人モ歐米人モ一齊ニ好マザル所デアル。支那ヲ日本ノ主權ノ下ニ置クコトヲ支那人ガ好マヌノハ當然ノコトデアル。而シテ日支聯邦組織ヤ日支經濟又ハ關稅同盟ニ至テハ日支双方ニトリテ有利デアルカラ、兩國人ガ良ク理解スルナラバ大シテ反對スヘキ筈ノモノデハナイガ、唯ダ此等ノモノノ組織ノ結果トシテハ、日本ノ勢力ヲ強ムル傾ガアルノデ、支那側ハムシロ之ヲ喜バヌ所デアル。歐米人就中英米人ニ至テハ右孰レニモ反對スル。英國ノ如キハ永イ間支那ニ深キ根底ヲ築イテ來テ居ルカラ之ニ反對スルノモ無理モナイガ、米國人ノ如ク未ダ支那ニ於テ利害關係ヲ多ク持タザルモノガ猛烈ニ反對スルノハ寧ロ意外ナル程デアル。其ノ彼ガ之ニ反對スルノハ畢竟彼ガ支那ヲ以テ其ノ未來ニ於テ重要ナル活動舞臺ト爲サントスルガ爲メデアル。一朝ニシテ支那ガ日本ノ特別政治勢力圈ニ入ルニ於テハ、米國ノ支那ニ於ケル活動ガ妨害セラレ、其原料ヲ利用シ其販路ヲ擴張スルコトモ出來難キコトトナル。彼ハ日本ノ夫ノ政策ニハ

反對セザルヲ得ス。

(五)

米國ハ今日迄、日本ガ右ノ如キ支那トノ間ニ於ケル特別政治關係ヲ作ラントスルコトヲ好マザル所デアルノミナラズ、今日ノ原則ノ下ニ於テ日本ガ支那デ平和的ニ鑛山ニ放資シ、其他何等カノ借款ニ應ズルニ對シテモ妨害ヲ試ミタ所デアル。其ニハ若干日本ノ態度ノ亂暴ナ所ノアツタカラデモアラウガ、兎角日本ガ支那ヲ併吞シハセヌカ、支那ノ主權ヲ危フシハセヌカト心配スルカラ來テ居ル。米國人ニシテ支那ニ在ル者ハ兎角日本ノ支那ニ於ケル行動ヲムシロ針小棒大ニ言ヒ觸ラシテ、日本ヲ以テ當ニ支那ヲ併吞スルノ野心アルモノト強ユル。斯クシテ支那人ヲシテ日本ヲ嫌惡セシメテ置イテ、己レ裏面ヨリ支那ノ利權ヲ得ヤウトシテ居ル。又一ニハ支那人ガ遠交近攻ノ慣用手段デ、米國ヲ利用シ來ツテ日本ノ勢力ノ發展ヲ抑壓シヤウトイフコトモアリ、更ニ又支那人ガ一方米國ヲ以テ日本ヲ抑エツツ、他方日本ヲ以テ米國ヲ抑エシムルトイフコトモアル。兎モ角米國人ガ支那ニ於ケル日本ノ勢力發展ヲ抑ユルノハ米國人單獨ノ事業デハナクテ、支那人トノ共働ノ事業デアル。

(六)

右様ノ成行故、日本ガ敢テ日本ノ支那ニ對スル希望ヲ完全ニ達シヤウトスレバ、米支ヲ敵トシ

テ兵火ニ依ツテ爭フコトヲ覺悟シナケレバナラス。然ルニ其成敗ニ若干ノ疑問ガアリ、特ニ英國其他ノ二三國ノ敵側ニ附クコトモアルベク、假令一時日本ノ勝利ニ歸シ其結果支那ヲ支配スルコトトナルニシテモ、永ク之ヲ維持シ得ルヤニハ疑問ガ少クナイ。加之一方、米國ハ日本ニトリテ今迄ノ處最重要ナル販路デアル。重要ナル原料供給者ノ一デモアル。然ルニ日本ガ其米國ヲ敵ニ廻ハスノハ兎モ角經濟上日本ニトリテ大不利デアリ、他方支那ニ於ケル日本ノ經濟上ノ地位ハ、日本ガ支那ヲ政治上ノ支配ノ下ニ置キテ歐米ヨリモ政治上ニ於テ優勝ナル基礎ヲ得ナクトモ、少クモ歐米諸國ガ此處ニ於テ日本ヨリモ優勝ナル政治上ノ地歩ヲ占メザル以上ハ、自由競爭ノ下ニ於テ日本ガ決シテ歐米ヨリモ不利トナルコトノアルヘカラザル事情ニアル。隨フテ日本ガ夫ノ大不利大危險ヲ冒シテ支那ニ政治上ノ特殊地位ヲ得ヤウト努ムルニ及バヌ又之ヲ努ムルヲ不利トスルコトトナルノデアル。

## (七)

尤モ右ノ穩健ナル結論ノ三前提ノ中ノ第三ノモノ即チ日本ハ支那ニテハ自由競爭ニテモ別ニ歐米ニ後レヲ取ラズトイフコトハ一應ハ其通リデアルガ、其ノ日本ニ取リテノ利益ガ此自由競爭ノ下ニ於ケルヨリモ、日本ガ支那ニ政治上ノ特殊關係ヲモツ場合ノ方ガ一層大イコトハ爭ハレナイ。唯ダ第一前提即チ力ノ不足ト第二前提即チ戰爭ニヨリテ日本ノ米國ニ於ケル利益ヲ失フコト

ト孰レカ結論ヲ生ズル上ニ重キヲ成スカトイヘバ、予ハ前者ノ方重シト思フ。此ノ日本ノ米國ニ於ケル利益ハ原料ニツキ及特ニ販路ニ關スルガ、原料ノ方モ現ニ禁鐵問題ニテ見ルガ如ク、將來ハ餘リニ當テニハナラヌ。販路ノ方モ夫ノ生絲ノ如キ、今日デコソ米國ハ之ヲ主トシテ日本ヨリ取ツテ居ルガ、彼ノ將來ノ希望ハ之ヲ主トシテ支那ニ得ヤウ、特ニ之ニツキ支那ニ基礎ヲ置カウトイフニ在ル。デ一般ニ原料ニツキテモ販路ニツキテモ將來ハ鎖國の傾向ノ強クナラントスル所ノ歐米ヨリモムシロ支那ニ於テ之ヲ得ルヨトラ努メナケレバナラヌ。米國ハ過去ニ於テ日本ニトリ重要デアツタガ、將來カライヘバ支那ノ方一層日本ノ爲メニ重要トナルベキデアル。デ此點ダケナレバ、日本モ支那ニ於ケル利益ノ爲メニ米國ニ於ケル利益ヲ拋棄シテモ良イ譯デアル。米國ニ於ケル利益ニ戀々タル必要モナイガ、實際日本ノ力ニ若干ノ疑問アルコトガ此米國ヲ敵トスルコトラ躊躇セシムルコトトナル譯デアル。日本ガ米國ヲ敵トスル能ハザル根本ノ原因ハ實ニ茲ニ在ル。

(八)

日本ガ米國ト協定スルコトトナツタ又斯クナラザルヲ得ナカツタ原因ガ右ノ如キモノトスレバ其日米協定ハ決シテ日米兩國ガ完全ナル對等關係ニテ作ツタモノデハナイ。米國ガ一段上ニ在テ作ツタモノデアル。米國ノ隣國ニツキテ協定セズシテ單ニ日本ノ隣國ノ事ノミ協定シ、全ク片務



的ナル嫌アルコトハ當然ノ事デアル。其ハ丁度日英同盟ガ完全ニ對等ノ關係ニテ出來テ居ラヌノト同デアル。又此日米協定ニ於テ日本ノ支那ニ於ケル特殊利益ヲ認メツツ、門戶開放機會均等領土保全ヲ誓ヒテ特殊利益ヲシテ有名無實タラシムルコトトナツタノモ當然デアル。矢張此協定デハ門戶開放機會均等領土保全ノ方ガ本音デアツテ、特殊利益ハ若干日本人ノ氣休ノ爲メニ入レタモノニ過ギナイ。將來問題ニハナルガ、到底之ヲ獨占的又ハ政治的意義ニ解スヘキモノデナイ。之ヲ而カ解スルコトトナレバ、門戶開放等ガ無意義トナリ、此協定ノ效果ハナキコトニナル。日本トシテモ特殊利益ヲ輕ク解釋シテ門戶開放等ヲ十分ニ尊重スル方ガ穩當デアル。苟クモ米國等ヲ敵トセザル以上ハ、其處マデ打解ケテ出ナクテハナラヌ。然ラザレバ米國其他ヨリノ日本ノ野心ニ對スル心配カ斷エナイデ、日本ノ支那ニ於ケル活動ハ却テ妨ケラルデアラウ。

## (九)

デ日本人ニシテ日米協定ニ不満足ヲ感ズル者アラバ、其人ハ宜シク日本ノ國力ヲ省ミ、之ヲ一層伸張スルコトニ全力ヲ用ユルコトニ決意スルノ外ハナイ。處デ或ハ此日米協定ハ日本國民ノ高キ平和的人道的(民主的?)ノ理想カラシテ、米國等ト手ヲ提エテ平和的交通ヲ遂ゲンガ爲メニ出來タト見ルガアル。此平和主義人道主義トイフコトハ一國ノ政策ヲ外裝スル審美的ノ意義ハアル。外ニ對シテ之ヲ唱フル亦政策上可デアラウガ、斯カル事ヲ政策ノ眞ノ理想ト誤認シテハ大變

デアル。政策ハ一國ノ全體ノ利益ヲ最要目的トスル。單ニ利益ガ目的デアル。平和ヤ人道ヤハ此ガ國ノ利益ニ合致スルダケニ於テハ之ヲ守ラナケレバナラス。ガ此ガ國ノ利益ニ合致セザルニ到ラバ、平和モ破ルヘク、人道モ暫ラク忍バナケレバナラス。若モ此平和主義ヤ人道主義ヲ徹底サスルナラバ、ムシロ自ラノ國家ヲ亡ボスモ可ナル場合ヲ生ズル。予モ亦人類ノ理想ガ此ニ在リテ、而シテ人類ハ何レノ時ニカ此平和主義人道主義ヲ徹底スルコトノアルヘキヲ想フ。又之ヲ希望スル。併乍ラ此ハ國家ノ理想デハナイ。現ニ人道主義平和主義民主主義ノ模範國トセラレ、又此等ノ主義ヲ自稱シ敵國ヲ以テ軍國主義非平和非人道主義ト呼ブ所ノ英米等ガ必スシモ徹底シタル夫ノ主義ヲモツノデナクテ、人道ニ反シ平和ヲ紊ルコトヲ敢テシテ憚ラズ、且ツ軍國主義ヲモ行ヒツツアル所デアル。英國ノ如キハ舊來海軍ノ軍國主義デアリ、今ハ又陸軍ノ軍國主義トモナリ、米國モ近頃參戰シテカラ着々軍國主義ヲ探ル。彼等ハ或ハ毒ヲ制スルニ毒ヲ以テスルノ外ナシトイフカモ知ラヌガ、兎ニ角彼等自ラ軍國主義ヲ探ツテ居ル。少クトモ手段トシテ之ヲ用キテ居ル。全然非軍國主義ノ國トハイヘナイ。彼等ハ此ヲ軍國主義國ニ向ツテ用ユルガ、非軍國主義ナル弱小國ニハ之ヲ向ケナイデアラウカ。如何ニモ直接ニハ軍國主義ノ國ニ向ツテ用ユルニ止マルデアラウガ、非軍國主義的ナル弱小國ニ對シテモ間接ニ之ヲ用ユルコトトナラザルヲ得ヌ。弱小國ガ彼等ニ對抗スル場合ニハ、理非ニ拘ラズ前者ノ不利ナル解決トナル傾アルヲ免レヌ。彼等

強大國ガ眞ノ平和主義人道主義ナラバ良イガ、彼等ハ矢張りマダ國ノ利益ヲ本位トスルモノデアルカラ、必スシモ正當ナル弱小國ヲ尊敬シナイ。彼等ガ假令手段トシテ軍國主義ヲ探ルトモ、眞ニ平和ヤ人道ヲ尊重スルナラバ、比較的力ノ弱キ國モ安心ヲ得ルガ、サウデナイカラ安心ガ出來ヌ。獨逸倒ルレバ、第二ノ獨逸トシテ何國カが起ラナケレバナラス。何國カガ第二ノ獨逸トナラナケレバナラス。國ノ利益ヲ本位トスル國際間ニハ力ノ不均ノ生ズル處、必ズ壓迫ノ行ハルルコト、恰モ氣壓ノ變化ヨリ風ノ起ルト同デアル。英米ノ必スシモ人道主義デナイコトハ日本人ガ彼等ノ領土内ニ於テ受クル待遇ニ依ツテ明カデアル。此ニ於テ日本人ヲ區別待遇スル間ハ何トシテモ彼等ヲ眞ノ人道主義者トハ認メラレナイ。又彼等ガ必スシモ平和主義者デナイコトハ、英國カ初メヨリ此度ノ戰爭ノ持續ノ爲メニ百万方盡力シ、米國ガ更ニ之ニ參加シテ之ガ繼續ヲ助成シタコトニヨツテモ分ル。或ハ此ハ完全ナル平和ヲ作り出ス爲メトイフカモ知レヌガ、併シ兎モ角其ガ平和ノ爲メノ平和デハナクテ、彼等各自國ノ爲メトナルヘキ平和ノ爲メニスルモノデアル。彼等ハ畢竟スルニ夫ノ美名ノ下ニ隱レテ、各自國ノ地歩ヲ確立シヤウトイフニ過ギナイ。日本人ハ決シテ彼等ノ美名ニノミ醉フテハナラス。

## (一〇)

デ國際間デハ少シモ油斷ヲ許サヌ。自國ニ力ノ間隙ガ出來ナイヤウニスルコトガ根本デアル。

平和主義人道主義ノ美名ニ釣ラレテ、自國ノ大切ナル兵力財力ヲ消耗セヌヤウニ注意シナケレバナラヌ。此根本ヲ失ハヌヤウニシテ、然ル上ニテ我ノ供與シ得ヘキ物ヲ以テ與國ヲ助ケ、又彼等ノ供與シ得ヘキ物ヲ我ニ供與セシメルヤウニ導カナケレバナラヌ。夫ノ金鐵ノ禁輸問題ノ如キモ相互理解ノ下ニ相當ニ双方ニ好都合ニ解決サレサウナモノデアル。彼レ米國ノ立場カラシテハ全然之ガ禁出ヲ爲サザルヘカラザル程ノモノデハナイ。金ニツイテハ彼ガ戰時ニナリテ大入超ヲ示メスニ於テ、或制限内ナラバ日本ニ出シテモ尙ササウナモノデアル。鐵ノ如キモ色々ノ説モアルガ、多少ハ日本ニ送ル餘力モアリ、日本ニ之ヲ送ツテ造船セシムルコトガ必ズシモ不可アルコトナイ。日本ヲ敵國扱シ日本ヲ危險視スルナラバ、其等ノ解禁モ出來ナカラウガ、日本ヲ味方ト認メ日本ヲ安全ナル國ト信ズルナラバ、夫ノ問題ニ於テモ日本ニ有利ナル解決ノツキサウナモノデアル。今日米協定ガ出來テ日本ガ米國ニ反抗スルモノデナク、支那デ我儘ヲ働クモノデナイトイフコトガ明確ニナツタコトハ、必ズヤ右ノ問題ノ解決ヲ有利ニスルデアラウ。随フテ我現下ノ財界ニ多少ノ生氣ヲ與フル筈デアル。

## (二)

尤モ此日米協定ノ爲メニ我財界ニ大活氣ヲ與フルニハ足ラナイ。大體日本ノ戰時景氣ハ此夏以來活氣ヲ失フコトトナツタ。其ハ色々ノ原因ニ依ルノデアル。勿論夫ノ米國ノ禁輸モ大ニ影響シ

テ居ル。金鐵ノ禁輸ノミナラズ、或ハ來ルコトアルヘキ禁輸ガ影響シテ居ル。其ト前後シテ内國デハ輸出禁制令、物價調節令、船舶管理令ガ出デテ有頂天トナレル投機ヲ抑壓シ、更ニハ外、露國ヘノ商品ノ賣行ガ殆ド中止ニ近キモノトナリ、内ハ各所ニ風水害ガ交々到ルトイフノデ、此等ノ色々ノ原因ガ相寄テ活氣ヲ殺イダガ、最近ニハ露國政府ノ更ナル顛覆ガアリ、其國情騷然トシテ軍隊活動ノ鈍ルコトトナレルガアリ、且ツ伊太利軍ノ大敗ガアリ、愈々以テ戦局ヲ悲觀シナケレバナラナクナツタ。今日米協定ハ出來タニシテモ、其ニヨツテ大シテ金ノ輸入ノ來ルコトモアルマイシ鐵材ヲサウ多クハ日本ニ供與セヌデモアラウ。カラシテ夫ノ日米協定ガ我財界ノ活況ニハ大シタ效能ハアルマイト思フ。

(二)

併シ此協定ガ幾分カハ日米關係ノ改善ニヨリテ、目下ノ諸交渉問題ニツキテ日本ニトリ有利事情ヲ生ズルデアラウシ、又之ヲ利用シテ巧ニ夫ノ問題ヲ解決シナケレバナラヌ。更ニ日本ハ支那ニ於テ假令政治上ノ優越權ヲモツトイフ程デナクトモ、經濟上ノ特殊利益ノ承認サレタコトデアルカラ、折角此際支那ニ於ケル經濟上ノ發展ヲ計ラナケレバナラヌ。此クスルトモ日本ガ爲メニ支那併吞ヲ計ルナドイフ邪推ダケハ今ヤ緩ムルヲ得ルコトトナツタ。特ニ今日ハ何トイツテモ日本ガ支那ニ手ヲ延バスノニハ最便利ノ地位ニ在ルカラ、折角之ヲ爲サナケレバナラヌ。鑛山ヲ開キ、農産ヲ改良増殖スルガ如キ事業ニ着手シナケレバナラヌ。其他支那ノ幣制改革ノ如キニモ着

手シナケレバナラヌ。

(一三)

日本ガ今日及今後益々支那ニ於ケル事業ニ手ヲ着クルニ就イテ及其貿易ヲ進捗スル上ニ於テノ一ノ重大ナル障礙ハ實ニ彼我貨幣制度ノ基礎ノ異ルコトデアル。此ハ何トシテモ日本ト共通ナルモノニ改メシムルコトニ力ヲ用キナケレバナラヌ。卽チ彼ヲシテ何等カノ形ニ於ケル金本位制度ヲ探ラシメナケレバナラヌ。斯クスルナラバ日本ガ支那貿易ヲ爲スニ於テモ金銀比價ノ變動特ニ銀下落ノ場合ニ於ケル不利ヲ避クルコトガ出來、支那ニ於ル事業ヲ營ムニ就テモ利益ノ計算ガ明確トナルコトヲ得ル。特ニ紡績業者ノ如キモ戰後銀ノ大下落ノ生ズル場合、支那幣制ガ今日ノ儘ナルニ於テハ非常ニ困ラナケレバナラヌ。此危險ヲ避クル爲メニハ今日速カニ支那幣制ヲ改正シ置クコトガ必要デアル。而シテ此改革事業ニ必要ナル資金ハ今日ノ情勢ノ下ニ於テハ日本ノ能ク出シ得ル所デアリ、而シテ此事業ニヨリテ生ズル利益ハ齊シク歐米ニモ及ブコト故、彼等ニ於テモ格別異議ハアルマジキガ、例ノ四國借款ノ歴史的關係モアルコト故、一應彼等ノ提携贊同ヲ求メ、特ニ米國ノ共同援助又ハ此借款ヘノ再加入ヲ求メ、凡ヘテ其等ノ國トノ共同名義ニテ實行スルコトガ穩當デアル。日本一國デモ出來ナイコトデハナイガ、矢張り其レデハ斯カル問題ニツイテハ諸國ノ猜忌ヲ買フ恐ガアルカラ、成ルヘク多クノ國々ノ贊同ヲ求ムヘキデアル。特ニ米國ハ實際多少ノ資金ヲ提供スルノ餘力モアラウシ、又日本トシテハ此米國トノ共同利益ニ關スル必要

ノ爲メニ、米國ニ置イテアル所ノ正貨、其ハ米國ガ輸出禁止ヲシテ居ルモノヲ利用スルコトニツイテ米國ノ同意ヲ得ルコトガ得策デアル。斯クスルヲ得ルナラバ、日本トシテハ一舉兩得ナルコトヲ得ル。而カモ此事業及此交渉ハ今日ノ日米協定ノ成レル時ヲ利用シテ着々進ムヘキコトデアル。而シテ此支那ニテ行フヘキ新貨幣制度ヲ如何ニスルカニツイテハ人ノ説ガ多岐ニ出デヤウガ、吾人ノ考デハ支那ノ事デアルカラ鑄造貨幣ハ容易ニ行ハルコトガ出來ナイ。デ寧ロ主トシテ紙幣ヲ流通セシメ其兌換準備トシテ支那及外國ニ正貨ヲ置クコトトスヘキデアルト思フ。

## (一四)

要スルニ今回ノ日米協定ハ日本トシテノ満足ナル希望ヲ達シタモノデハ斷ジテナイ。併シ日本ノ現在ノ力デハ先ツ此レ位ノ處デ辛乏スルノガ最穩當ノ仕方デアル。吾人ハ假令不満足ノモノデモ一旦外國ト協定シタ以上ハ、事情ニ大變動ノ生ゼザル限り之ヲ尊重シナケレバナラヌ。從來兎角支那問題ニツイテハ支那モ歐米モ日本ノ野心ニツキ疑ヲ懷キツツアツテ、此ガ日本ノ平和的發展ニモ障礙トナツテ居タ所デアルカラ、假令日米協定ノ文句ニハ解釋ノ仕様ニヨツテ日本ニモツト都合良キヤウニナリ得ル所デモ、苟クモ日本ノ野心ヲ疑ハルル嫌アルモノハ之ヲ避ケテ、嚴正ニ平和的ニ支那ニ發展スルコトトスベキデアル。而シテ此平和的ノ發展ニツイテハ此協定ガ出來各方面ニテ日本ニツキテノ疑念ヲ消散シタ今ノ時機ヲ捉ヘテ、速カニ着々實行ヲ爲サナケレバナラヌ。就中支那ノ貨幣改革ノ助成ノ如キハ最重大適切ナル事業デアルト思フ。